

心電図・脈波や呼吸の解析

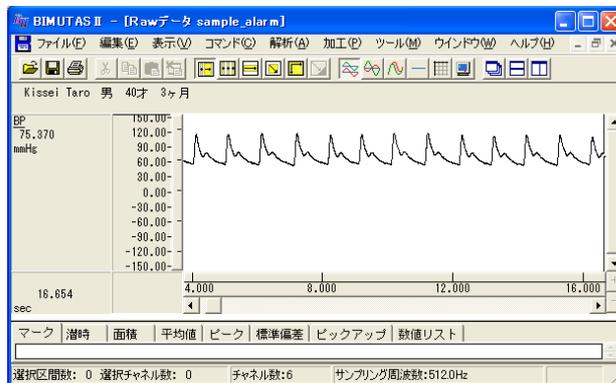
3-5) 最高・最低・平均血圧を算出する

脈波から、区間毎の最高・最低血圧を算出します。
その後、表計算ソフト上で、平均血圧を算出します。

<操作の流れ>

- ↓ ①脈波の生波形を表示する。
- ↓ ②解析する区間を選択する。
- ↓ ③最高・最低血圧を算出する。
- ↓ ④タブ領域内を選択し、コピーする。
- ⑤表計算ソフト上で、脈圧と平均血圧を算出する。

①脈波の生波形を表示する。



②解析する区間を選択する。

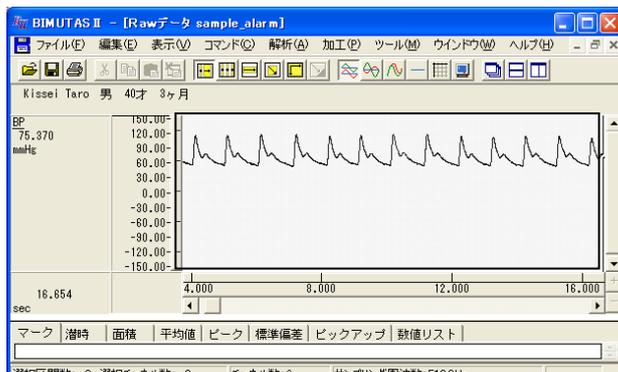
ツールバーの選択範囲モードを選び、選択範囲を設定します。

例:チャネル全体を選択範囲とする場合

ツールバーで「チャンネルの全範囲」ボタンを押します。



波形上でクリックすると、そのチャンネル全体が選択されます。



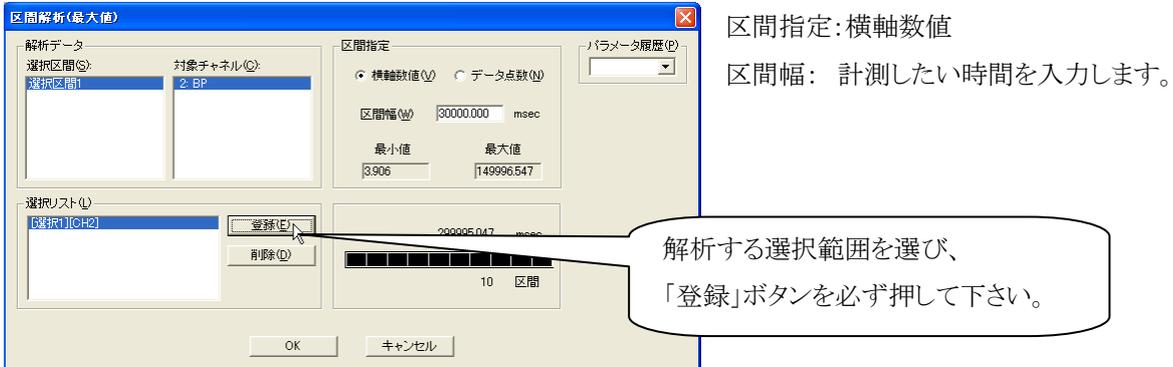
③最高・最低血圧を計測する。

「解析」メニューの「区間解析」から最高血圧なら「最大値」、最低血圧なら「最小値」を選択します。



「区間解析(最大値)」または「区間解析(最小値)」ダイアログ上で、以下の様に設定し「OK」ボタンを押します。

例: 選択区間を 30sec 毎に区切り、30sec 毎の最高血圧を計測する場合



新しいウィンドウに、最高血圧または最低血圧を時系列に並べた波形が表示されます。

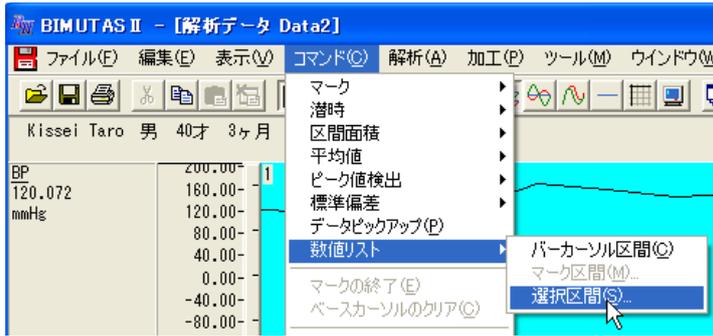


④タブ領域内を選択し、コピーする。

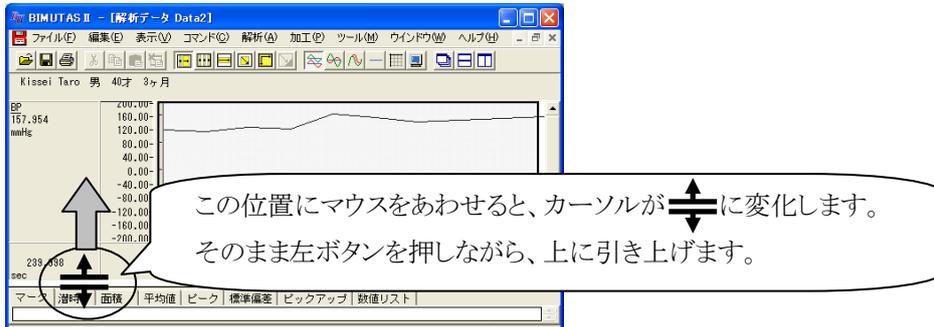
新しいウィンドウ内の波形を全て選択するため、ツールバーで「全範囲を選択します。」ボタンを押します。



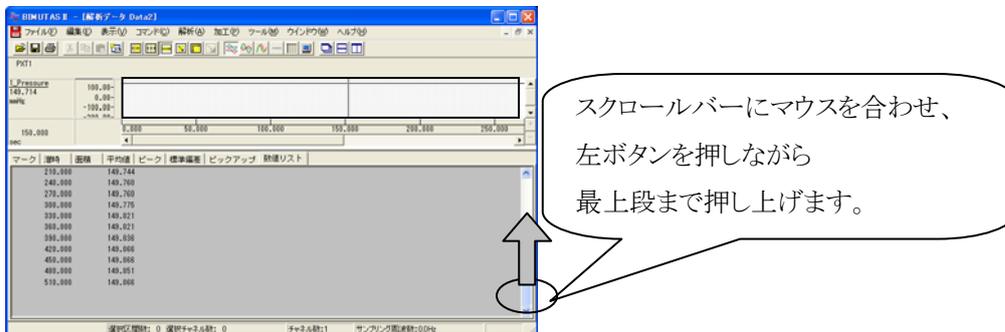
「コマンド」メニューの「数値リスト」から「選択区間」を選びます。



タブ領域を拡大して、数値リストを表示させます。



右端のスクロールを最上段まで押し上げます。



「編集」メニューの「タブ情報」から「全て選択」を選びます。



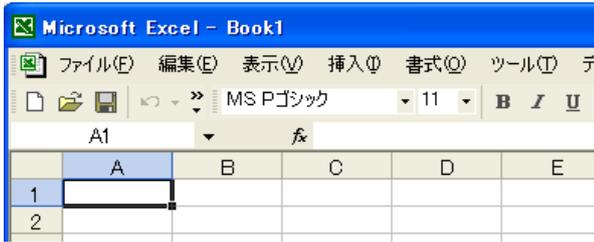
BIMUTASII を使用した解析手順

続けて、「編集」メニューの「タブ情報」から「コピー」を選びます。

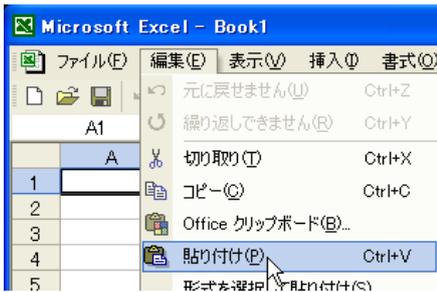


⑥ 表計算ソフト上で貼り付ける。

表計算ソフト(例:Excel)を起動します。



表計算ソフト上で「貼り付け」を選びます。最高血圧が表計算ソフトに表示されます。



同様に⑤⑥項を最低血圧についても行います。

最高血圧と最低血圧を元に、脈圧と平均血圧を計算すると、以下のようになります。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	最高血圧			最低血圧			脈圧	[最高血圧-最低血圧]		平均血圧	[最低血圧+脈圧/3]
2	sec	mmHg		sec	mmHg		sec	mmHg		sec	mmHg
3	0	123.423		0	54.875		0	68.548		0	77.724
4	30	120.072		30	53.607		30	66.465		30	75.762
5	60	131.874		60	53.124		60	78.75		60	79.374
6	90	127.8		90	54.15		90	73.65		90	78.700
7	120	170.752		120	53.124		120	117.628		120	92.333
8	150	162.27		150	56.505		150	105.765		150	91.760
9	180	147.781		180	57.954		180	89.827		180	87.896
10	210	153.879		210	57.893		210	95.986		210	89.888
11	240	157.954		240	63.024		240	94.93		240	94.667
12	270	163.749		270	64.473		270	99.276		270	97.565
13											